



## 平成30年3月期第1四半期

# 決算説明資料

本資料は、当社の平成30年3月期第1四半期決算における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 上原悦人
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	昭和33年(1958年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕3社
従業員数	〔グループ全体〕5,450名 (当社単体) 6名 (連結子会社) 4,866名 (持分法適用関連会社) 578名

## 【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	40,543,965,000円

平成29年6月末時点

昭和33年 1月	当社(協立証券(株))設立
平成11年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (平成28年11月より代表取締役会長に就任)
平成11年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
平成13年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
平成16年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
平成18年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
平成19年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕6社 〔持分法適用関連会社〕3社

## 《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

平成29年6月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	54.41%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90% ※1
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	40.00%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.14%
少額短期保険	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	19.50%
【再生ビジネス】		
IT(デジタルコンテンツ事業)	● iXIT株式会社	100.00%

■ エイチ・エス・アシスト(株)は、平成29年6月に清算終了したことにより、同社は当社の持分法適用関連会社から除外。

■ (※1)平成29年6月、当社はキルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)の株式を取得したことにより、同社は当社の連結子会社となる。

## 《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	平成15年 国際競争入札により株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	平成24年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	平成18年 設立（平成19年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	平成18年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	平成17年 株式を取得
▲ エイチ・エスライフ少額短期保険株式会社	平成22年 設立（平成23年 営業開始）
● iXIT株式会社	平成27年 株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	平成29年 株式を取得

# 連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4月～6月)	前年同期比
営業収益	12,519	12,382	98.9%
純営業収益	4,696	5,827	124.1%
営業利益	416	1,560	374.6%
経常利益	439	1,540	350.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,253	1,035	82.6%

(単位:百万円)

科目 \ 期間	平成29年3月期末 (平成29年3月末時点)	平成30年3月期 第1四半期末 (平成29年6月末時点)	前年同期比
総資産	365,254	363,691	99.6%
純資産	62,178	64,176	103.2%
現預金	67,147	56,426	84.0%

## 主な増減要因

- 【銀行関連事業】モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績は、モンゴル経済が減速している状況下にもかかわらず、資金運用収益(現地通貨ベース)は増加。また、為替ヘッジを目的とするスワップ取引の評価損益も前年同期比で大幅に改善したこともあり、増益となる。一方で、現地通貨安(円高)は当社の連結決算(円建て)にマイナスの影響。

営業収益 103億59百万円 (前年同期比 13百万円増)

営業利益 11億97百万円 (前年同期比 9億89百万円増)

- 【証券関連事業】エイチ・エス証券(株)は、トレーディング損益の増加等もあり、前年同期比で増収増益。

営業収益 10億74百万円 (前年同期比 1億68百万円増)

営業利益 2億54百万円 (前年同期比 1億46百万円増)

- (株)外為どっとコム及びソリッド銀行の減益等により、持分法による投資損益は13百万円(前年同期比2億48百万円減)に留まる。

- 営業利益、経常利益は前年同期比で増加。一方で、前年同期は関係会社株式売却益12億8百万円を特別利益として計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で減少。

# セグメント別業績

平成30年3月期第1四半期 (平成29年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	10,359	1,074	609	370	141	12,382
営業費用	9,161	819	550	373	78	10,821
営業利益	1,197	254	59	△ 3	63	1,560
経常利益	1,197	270	44	△ 14	135	1,540

平成29年3月期第1四半期 (平成28年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

セグメント 科目	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	10,346	905	934	349	248	12,519
営業費用	10,138	797	814	410	82	12,102
営業利益	207	108	120	△ 61	165	416
経常利益	207	133	107	△ 63	254	439

※ 上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示。



# 営業収益の構成

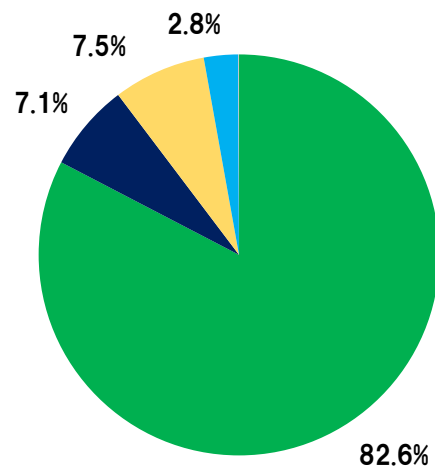
## 事業別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

セグメント	期間	平成29年3月期第1四半期 （平成28年4月～6月）	平成30年3月期第1四半期 （平成29年4月～6月）	前年同期比
銀行関連事業		10,346	10,359	100.1%
証券関連事業		884	1,055	119.3%
債権管理回収関連事業		934	609	65.2%
IT関連事業		346	357	103.1%
その他事業		7	0	6.7%
合計		12,519	12,382	98.9%

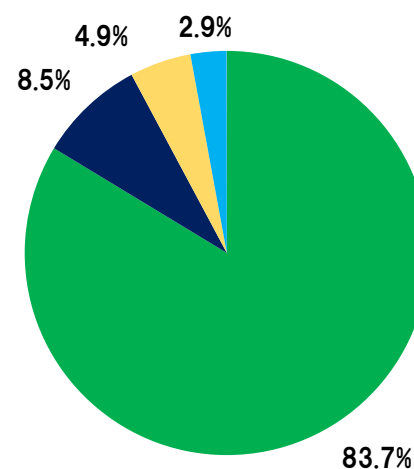
平成29年3月期第1四半期

12,519百万円



平成30年3月期第1四半期

12,382百万円



- 銀行関連事業
- 証券関連事業
- 債権管理回収関連事業
- IT関連事業
- その他事業

# 澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目	期間	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4月～6月)	平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4月～6月)	前年同期比
営業収益		248	380	153.1%
営業利益		165	302	182.6%
経常利益		△ 8	361	-
四半期純利益		647	378	58.5%
総資産 (前期末/当四半期末)		28,277	27,965	98.9%
純資産 (前期末/当四半期末)		25,668	25,485	99.3%

## 主な増減要因

- 関係会社配当金の増加等により、前年同期比で増収。また、為替差損が前年同期比で減少したこともあり、経常利益も前年同期比で増加。
- 前年同期には関係会社株式売却益6億68百万円を特別利益として計上していたため、四半期純利益は前年同期比で減少。

(単位:百万MNT)

商号	所在地	資本金	議決権の所有割合	主要事業	期間			
					科目	平成28年12月期 第1四半期 (平成28年1~3月)	平成29年12月期 第1四半期 (平成29年1~3月)	前年同期比
ハーン銀行(Khan Bank LLC)	モンゴル国ウランバートル市	52,792百万MNT (MNT:トゥグルグ)	54.41%	銀行業	Interest income (資金運用収益)	159,772	202,602	126.8%
					Net interest income (純資金運用収益)	62,257	75,492	121.3%
					Profit for the period (四半期純利益)	9,459	33,943	358.8%
					Total assets (総資産) (前期末/当四半期末)	6,487	6,575	101.4%

## 会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

## 概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、資金運用収益、融資残高、預金残高ともに前年同期比で増加。また、為替ヘッジ目的のスワップ取引の評価損益が前年同期比で大幅に改善したこともあり、業績は前年同期比で増益。
- 石炭・銅の価格上昇や、モンゴル政府が国際通貨基金(IMF)から4億40百万ドルの拡大信用供与措置(EFF)を受けることについて実務者レベルで合意するなど、モンゴル経済は低迷から回復に向かう兆しが見え始めた。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。また、バスの料金を支払う「シティ・パスカード」の発行など、更なるサービスの向上に努めるとともに、モンゴル経済を注視しつつ、慎重な姿勢で経営に臨む。

	平成28年3月末	平成29年3月末	前年同期比	【為替レート】
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	3,162,975	4,159,983	131.5%	平成29年3月末 1円 = 21.89MNT
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	3,025,140	3,240,935	107.1%	平成29年1月~3月平均 1円 = 21.66MNT

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目	期間	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4~6月)	平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4~6月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益		905	1,074	118.6%
資本金	3,000百万円	営業利益		108	254	235.5%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益		133	270	202.6%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益		125	237	189.0%
		総資産 (前期末/当四半期末)		39,267	41,786	106.4%

## 会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 平成19年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

## 概況

- 米国株式の店頭取引や外貨建て債券の販売が好調に推移したことにより、トレーディング損益が前年同期比で増加。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、外部環境に左右されない安定的収益の確保や、インターネット取引の利便性向上及びシェアの獲得を目指す。
- IPO(新規公開)3社の幹事に参入。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	319,822	373,169	116.7%

# エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	科目 \ 期間	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4~6月)	平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4~6月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	934	609	65.2%
資本金	500百万円	営業利益	120	59	49.2%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	107	44	41.4%
主要事業	債権管理回収業	四半期純利益	73	22	31.3%
		総資産 (前期末/当四半期末)	3,501	3,884	110.9%

## 会社プロフィール

- 平成18年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

## 概況

- 金融機関のバルクセールにおける落札価格の高騰が続く状況下において、利益率の低下はあるものの、債権の買取及び無担保債権からの回収を推進。しかしながら、前年同期に大型回収案件があったことの反動により、前年同期比で減益。
- 前年同期に回収した大型案件を除いた回収高は、前年同期比で増加。更なる債権買取と人員強化を図り、増収増益を目指す。
- 中小企業庁より認定を受けた経営革新等支援機関として、企業再生分野への取組みについて金融機関に積極的な提案を推進。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	849	499	58.7%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	69	55	80.1%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	期間	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4~6月)	平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4~6月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益		2,282	1,596	69.9%
資本金	778百万円	営業利益		1,095	457	41.8%
議決権の 所有割合	40.14%	経常利益		983	485	49.4%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益		637	337	53.0%
		総資産 (前期末/当四半期末)		129,107	129,695	100.5%

## 会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 平成26年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

## 概況

- 昨年6月は英国のEU離脱決定による外国為替市場のボラティリティ(価格の変動率)の拡大があったものの、当第1四半期はボラティリティが縮小したことに伴う減収の他、システム基盤の更改等による販管費の増加もあり、前年同期比で減益。
- 「香港ドル/円」を除く全通貨ペアにおいて、業界最狭水準のスプレッドを提供中。また、各種キャンペーンの実施等により、シェア拡大を目指す。

	平成28年6月末	平成29年6月末	前年同期比
口座数 (件)	422,437	448,678	106.2%
預り資産残高 (百万円)	110,059	112,975	102.6%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	平成28年12月期 第1四半期 (平成28年1~3月)	平成29年12月期 第1四半期 (平成29年1~3月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 カムチャツカ地方 ペトロパブロフスク・カムチャツキー市	Net interest income (純資金運用収益)		83	72	86.5%
資本金	1,782百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		275	333	121.2%
議決権の 所有割合	40.00%	Profit for the period (四半期純利益)		10	△ 142	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) (前期末/当四半期末)		10,892	10,166	93.3%

## 会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

## 概況

- ロシアの厳しい経済状況を背景として融資残高及び資金運用収益は前年同期比で減少。保証業務や貴金属取引等の非業務収益は増加したものの、法人税等調整額の影響等もあり業績は低迷。
- ロシア経済は、原油価格の緩やかな回復等により、実質GDP(1-3月)は前年同期比0.5%増加。しかしながら、欧米諸国による経済制裁は継続しており、依然として厳しい状況にある。インフレ率も低下基調であり、中央銀行は政策金利を引き下げ。
- ソリッド銀行は、ロシア経済を注視しつつ、優良企業への貸出の増加に注力。また、引き続きクレジットリスクの低い商品開発、保証業務や貴金属取引等の非金利収入の拡大に取り組む。

	平成28年3月末	平成29年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	7,783	6,889	88.5%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	6,304	5,999	95.2%

【為替レート】  
平成29年3月末  
1RUB = 2.00円  
平成29年1月~3月平均  
1RUB = 1.95円

## 《連結》

(単位:百万円)

商号	ixIT株式会社	期間		前年同期比	
		科目	平成29年3月期 第1四半期 (平成28年4~6月)		平成30年3月期 第1四半期 (平成29年4~6月)
所在地	東京都世田谷区	営業収益	349	370	106.0%
資本金	300百万円	営業利益	△ 69	1	-
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	△ 70	1	-
主要事業	デジタルコンテンツ事業	四半期純利益	△ 168	1	-
		総資産 (前期末/当四半期末)	710	605	85.2%

## 会社プロフィール

- ① デジタルコンテンツ配信やモバイルアプリケーション開発を展開。
- ② 平成27年12月、当社は企業の育成・再生事業として(株)インデックス(現ixIT(株))の株式を取得し、当社グループの一員となる。

## 概況

- 既存のコンテンツ課金収入が減少傾向にある中、経営体制を刷新し、抜本的な改革に取り組んだ効果が徐々に顕在化し、業績は前年同期比から大幅に改善。
- 経営体制の刷新に伴い、新規事業の開始、新規顧客の開拓に向けた営業の強化及び組織改編、固定費の削減等を実施し、新規受託案件は堅調に増加。
- ハウステンボスのVR(バーチャルリアリティ:仮想現実)を用いた体感型アトラクション、インタラクティブメディア「TIG」、株主優待ポイントシステムなど、今後も新規事業を積極的に展開。



## 《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、両行における決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。</li> <li>■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、平成28年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。</li> </ul>
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

※ 平成29年6月の株式取得により当社の連結子会社となったキルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)について、当第1四半期では貸借対照表のみ連結しております。同行の損益は、平成30年3月期第2四半期より連結決算に反映する予定です。なお、キルギスコメルツ銀行の決算期は12月であり、ハーン銀行及びソリッド銀行と同様の取扱いとなります。

## 《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	平成28年12月期第1四半期		平成29年12月期第1四半期	
		期末レート (平成28年3月末)	平均レート (平成28年1月～3月)	期末レート (平成29年3月末)	平均レート (平成29年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 18.23MNT	1円 = 17.33MNT	1円 = 21.89MNT	1円 = 21.66MNT
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 1.65円	1RUB = 1.60円	1RUB = 2.00円	1RUB = 1.95円